

2021年3月31日

《資料1》 「新型コロナウイルス感染症」に関連した 子どもの声【事例】

特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

《データ概要》

2020年5月から11月までの
「新型コロナウイルス」に関する内容についての事例

- ・事例収集期間：2020年5月1日から11月30日まで
- ・事例概要：チャイルドラインへのアクセスした子どものうち、全国のチャイルドライン実施団体が集めた「新型コロナウイルス」に関連した内容を集約した
- ・プライバシーに関する配慮：事例は、個人が特定できないように編集を行った

《ポイント》

- 【全国緊急事態宣言による休校延長（5月1日～）】 家族との関係、学校にいきたい、課題への戸惑いなど
- 【全国緊急事態宣言解除に伴う学校再開（5月25日～）】 登校への不安、友人関係がつかれない、以前と違う学校生活など
- 【夏休み（7月28日～）】（自治体により期間は異なる）昨年と違う夏休み、俳優の自死など
- 【2学期（9月1日～）】 学校にいけない、身近な感染、部活ができないなど
- 【そのほか】 医療従事者の家族に対するいじめ、体調の不安、家庭の経済状況、性的行動に関すること

《全国緊急事態宣言による休校延長（5月1日～）》

- *母との関係がよくない。精神的に不安になる、コロナの事で悪く考えてしまう
- *自宅学習だから姉にからかわれてケンカしちゃう
- *学校早く始まってほしい

*塾もオンライン授業で毎日やったことを報告するの疲れる

《全国緊急事態宣言解除に伴う学校再開（5月25日～）》

- *課題が思うようにできていない。今日から学校だけど不安
- *学校で友だち作れない。話そうと思ったら注意された。授業中もしゃべれない
- *先生たちも大変そうで質問できない。いつ普通に戻るんだろう
- *仲良かった子とコロナの休みがあって話しづらくなっちゃった

《夏休み（7月28日～）》

- *いつも行ってたおばあちゃんの家「今年は来ないで」って言われて行けなくなっちゃった
- *海に行けなくなった
- *大好きな俳優が自殺してしまった

《2学期（9月1日～）》

- *クラスでコロナに感染した人がいて学級閉鎖になってしまった
- *親が医療従事者で学校に行けない
- *夏休み終わったら気分が落ち込んで学校いけない
- *コロナで吹奏楽部の活動ができない
- *大会がなくなったから部活も休みになった

《そのほか》

【医療従事者の家族に対するいじめ】

- *母は看護師。母のことを「コロナ」と言われたり、「コロナ来るな」と言われたりする
- *親が医療関係で働いていて「コロナコロナ」といじめられる

【体調の不安】

- *のどが痛くて痰が出る。コロナじゃないかと不安
- *休校明けの学校が再開したのをきっかけに、人前で話すと体が大きく震えるようになった
- *原因はわからないけどすごく不安になる。

【家庭の経済状況】

- *親が失業してしまった。住んでいる所を追い出されるかもしれない
- *父の会社が倒産して、やたらと怒るのでケンカしてしまった。感謝はしてるけど

【性的な行動について】

- *休校中暇だったからSNSで知り合った人とHしちゃった
- *暇でつい自慰行為をしてしまう。罪悪感や体によくないのではという不安がある

事例集計・整理：高橋弘恵（理事）

【この資料に関する問い合わせ】

作成：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

連絡先：（事務局）

〒162-0808 東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5F

メール：info@childline.or.jp 電話：03-5946-8500

ウェブサイト：<https://childline.or.jp/>